

ホンモロコ天然卵からの親魚養成とその採卵

寺井章人・根本守仁・磯田能年・大澤宏史

1. 目的

近年著しく減少したホンモロコ資源の回復を目的に、種苗放流等種々の増殖対策が実施されている。

水産試験場では、天然卵からの親魚養成(F0)および(公財)滋賀県水産振興協会が実施する放流事業に必要な親魚生産のための卵の提供を実施した。

2. 方法

1) 親魚養成

①天然卵の採集

2022年4月7日から5月26日に、長浜市湖北町延勝寺地先、大津市小野地先、守山市今浜地先の琵琶湖、西の湖および西の湖に流入する山本川で、柳の根やヨシ、砂礫等に付着したホンモロコ卵を採集した。

②飼育管理

採集した卵から得られたふ化仔魚を、30L水槽に1水槽あたり1,000尾以内を目安に収容し、ツボワムシを給餌した。30L水槽での飼育期間は約2週間とした。

その後は、40㎡の屋外池に放養して飼育した。放養から約15～20日間はツボワムシ、それ以降は配合飼料を給餌した。

2) 経年魚からの採卵

2019年～2021年度に生産した親魚(1歳～3歳)から採卵を行った。採卵は、2022年4月19日から4月21日にそれぞれ実施した。方法は自然産卵による採卵とし、水面に浮かべた人工基体に産卵したものを回収した。

3. 結果

1) 親魚養成

①天然卵の採集

卵の採集は期間中に7回行い、約17,100尾のふ化仔魚を得た。

②養成

2022年11月時点の養成親魚量は下表1に示す通り、6面の池で合計14,204尾、94.17kgで、顕著なへい死等も見られず適正な飼育管理ができた。

表1 ホンモロコ親魚養成状況

年齢	池数(面)	尾数	重量(kg)
0歳	2	7,927	36.71
1歳	2	4,201	30.16
2歳	2	2,076	27.30
合計	6	14,204	94.17

2) 経年魚からの採卵

採卵結果を表2に示した。池番号7A-7および7A-8の1歳魚については採卵直前に細菌性感染症とみられる症状が確認されたため採卵を行わなかった。5池で合計3,880,000粒と、予定の1,000,000粒を大きく上回る卵が得られた。1,410,000粒を(公財)滋賀県水産振興協会へ提供し、残り2,470,000粒は当場で使用した。

表2 ホンモロコ採卵結果

池番号	年齢	親魚尾数 (2021年11月時点)	採卵量 (千粒)
7A-1	3	1,350	1,380
7A-2	2	2,838	340
7A-3	1	3,975	1,110
7A-5	3	1,292	780
7A-6	2	3,041	270
7A-7	1	2,284	未実施
7A-8	1	2,417	未実施
計			3,880